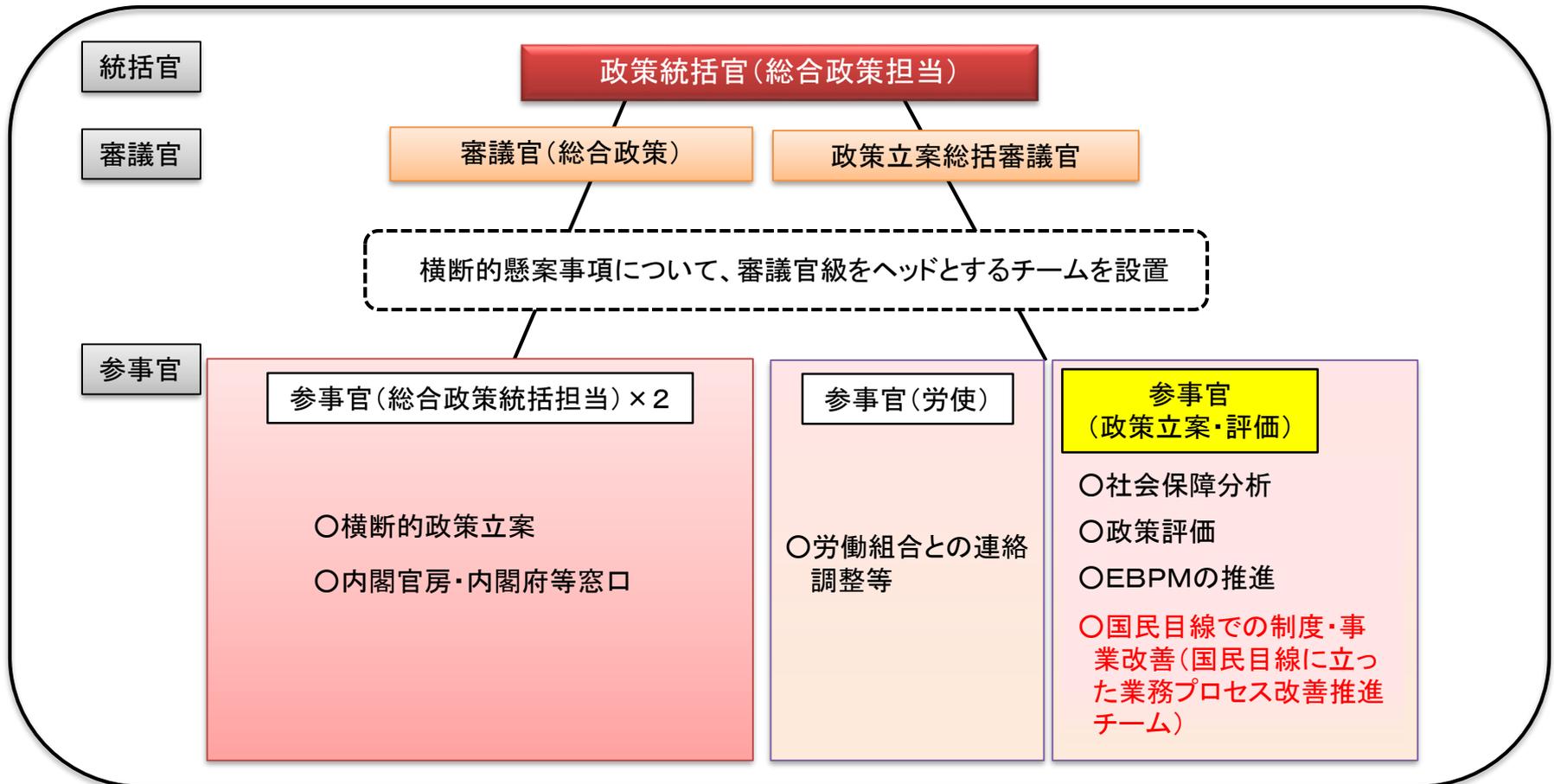


- 社会保障担当・労働政策担当の参事官を一本化。併せて、懸案に機動的に対応するため、係制を廃止し、プロジェクト的取組みを可能とする班体制に移行し、縦割りを廃した取組を推進(令和元年7月～)。省内横断的な懸案事項には、プロジェクトチームを組んで対応。
- 業務の効率化、職場環境の改善を図るため、フリーアドレスの導入(令和2年3月23日～)。
- 調査機能を強化するため、政策立案・評価担当の参事官を設置し、政策統括機能の強化を推進(令和2年夏)。厚生労働省改革実行チームに、「国民目線に立った業務プロセス改善推進チーム」を設け、業務改革推進室と連携し国民目線に立った制度・事業の改善機能を強化。



統括官

審議官

参事官

政策統括官(総合政策担当)

審議官(総合政策)

政策立案総括審議官

横断的懸案事項について、審議官級をヘッドとするチームを設置

参事官(総合政策統括担当) × 2

- 横断的政策立案
- 内閣官房・内閣府等窓口

参事官(労使)

- 労働組合との連絡調整等

参事官
(政策立案・評価)

- 社会保障分析
- 政策評価
- EBPMの推進
- 国民目線での制度・事業改善(国民目線に立った業務プロセス改善推進チーム)

プロジェクト方式の取組

- 厚生労働省の政策統括機能を強化する観点から、懸案に応じたプロジェクトチームを設置し、分野横断的な取組を推進
- プロジェクト的取組みを可能とする班体制に移行し、縦割りを廃した取組を推進

1. 「生活を守る」プロジェクトチーム

- コロナ禍での国民の「生活を守る」ため、①生活を守るための各種施策を国民にわかりやすく周知すること、②当面又は今後想定される生活上の課題を把握し、対応することについて検討。（主査：稲津厚生労働副大臣）政策統括室**政策第3班及び第5班が一つのチームとなって対応。**

Quality

民間出向者を含む両班員による、
班の枠組みを超えた議論・アイデアの融合

Speed

両班の業務量を踏まえたタスク分担による、
効率的・迅速な資料作成等の業務遂行



- 4月14日の設置以降、5月末までに計3回P Tを開催。その間、21人の有識者に対してヒアリングを実施し、その意見を二次補正に反映。

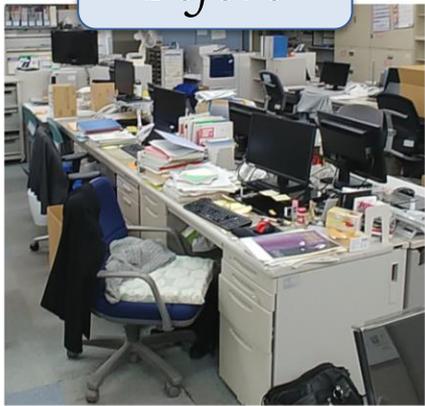
2. 新たな横断的プロジェクトチームの設置

- 就職氷河期世代支援プロジェクトチーム
- 障害者雇用・福祉連携強化プロジェクトチーム
- 賃金底上げプロジェクトチーム
- 疾病・介護予防、健康づくり実証事業推進プロジェクトチーム

フリーアドレスの導入

- プロジェクト的取組みを可能とする班体制での業務推進を円滑化するため、フリーアドレスを導入

Before



After



国民目線に立った制度・事業の改善機能の強化について

- 国民の生活に役立つ厚生労働行政への変革を推進するため、広報改革等により広聴機能の強化を進めているところ。
- 強化した広聴機能を活用して把握した国民ニーズ等を踏まえ、制度・事業の実施業務の改善に横串で取り組むため、厚生労働省改革実行チームの下に「国民目線に立った業務プロセス改善推進チーム」を設置して、現状把握、問題点抽出、業務プロセス等の改善策の検討を集中的に実施することで、サービス改善効果を高めるもの。
- その検討結果を厚生労働省改革実行チームに報告し、横展開することで、厚生労働省全体の改善の取組を一層根付かせていく。

